

授業科目名 (科目の英文名)
初年次地域キャリアデザインワークショップ (Carrier Design Workshop in Oita for Freshperson) *大分を創る科目

区分・【新主題】 / (分野)
全学共通科目 【導入・転換】 / (総合)

必修 選択	単位	対象 年次	学部	学期	曜限	担当教員
選択	2	1・2	教・経・医・理工・福	前期	集中	牧野 治敏 (高教) 内線 7644 E-mail hmakino@oita-u.ac.jp

【授業のねらい】

初年次学生を主な対象とする本授業では、「大学教育での学びのステップを自分自身で身につける」ことを目指しキャリアデザインができる能力を育成することをねらいとしている。また、その学びの中で「大分」を教材として、大分地域での就業意識を醸成することも目的である。
COC+に関わる大学のそれぞれの分野で学ぶ学生たちが、自らの将来を見据えて、地域の現状理解と地域で働く意義を学ぶことで、より安心して地域へ定着し、価値を生み出していける新しい地域社会の創造に貢献する人材となることを目指す。

【具体的な到達目標】

- ・多様な情報から、多様な人や文化、考え方を分析することができる。
- ・組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。
- ・グループ討議やプレゼンにおいて、自分の考えを他者に分かりやすく説明することができる。
- ・大分で働く魅力と、地域社会や企業が抱える目標や課題の分析に基づいて、大分で働くことについて自分の考えをグループ内で分かりやすく説明できる。
- ・自分の考えを基にして、他者と協調・協働して相互評価しながら、地域社会や企業が抱える課題に対応できる大学等での学び方を提案することができる。
- ・自分の生き方を構想し、自分自身が大学で学ぶ意義と価値を説明できる。

【授業の内容】

1. 大分県内で働くことに関する現状と働く意義について、必要と考えられる情報収集や積極的な議論を行うなどして、批判的思考を踏まえて自分の考えを説明できる能力を育成する。
2. 大分県で働くことに関する魅力と地域社会や企業が抱える目標や課題を知り、それに対応して活躍するために、地域の大学で学ぶ者若者としてそれぞれの専門的な学びを生かして自分の考えを自由に構築する。さらに、その考えの共有や相互評価をとおして、地域社会や企業が抱える課題に対応するための大学での学びの価値について気づかせる。
上記を達成するために、以下の①から⑤の授業を実施する。(①②・・・はコマ数、⑤コマ以降は合同授業)

①各大学等で、eラーニングでの動画視聴を主としたガイダンス。

②～④eラーニングでの動画視聴により、大分で働く魅力、地域社会や企業が抱える目標や課題、大学等での学び方等を個人学習し、大分での就職を前提としたディベートの資料を準備する。

⑤～⑧(1回目の合同学習)収集した各種情報から大分で就職することのメリットとデメリットを整理し、様々な形態でディベートを行う。

⑨～⑫(2回目の合同学習)若手社会人を交えたディベートやワールドカフェ、グループ討議を行い、大分県で就職することのメリットとデメリットを研究し、プレゼン資料を作成する。

⑬～⑮(3回目の合同学習)若手社会人を交えた、大分の魅力や地域課題を基にした大分での就職のメリットとデメリットのプレゼンテーションをとおして、大学での学びのあり方を提案して意見交換を行う。

○1コマ：8月21日(月)2限(大分大学で実施)

○2～4コマ：eラーニングでの個人学習

○1回目の合同学習：8月29日(火)9:30～16:50(ホルトホール大分で実施)

○2回目の合同学習：8月30日(水)9:30～16:50(ホルトホール大分で実施)

○3回目の合同学習：9月1日(金)9:30～15:10(ホルトホール大分で実施)

【学生がより深く学ぶための工夫】

- ・学修の経緯と省察を「学びの足跡」に記載する。グループ討議、様々な形態でのディベート、社会人を交えたワールドカフェ、プレゼンテーション等の活動とその際の資料作成、個人レポート作成。

【時間外学習】

- ・情報収集やグループワークを中心とした授業ですから、授業時間以外に各種情報の収集やプレゼン資料の作成などの活動がありますので、自主的な活動時間が必要です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。

【参考書】

本授業用の「学びの足跡」に沿って授業を行い、各自の学びの内容を記載していく。

【成績評価の方法及び評価割合】

評価の観点①資料分析や授業中のグループ討議等での活動状況(収集分析資料、学びの足跡)：2割

評価の観点②自分としての魅力や課題の指摘内容(他者評価、ミニレポート、学びの足跡)：2割

評価の観点③班での課題解決のための提案内容(プレゼン資料、相互評価、学びの足跡)：2割

評価の観点④自分にとっての学びの価値(最終レポート)：4割

【注意事項】

- ・本授業の趣旨・内容・ねらいを十分に理解して受講することが必要です。受講生は20名程度です。受講者数が多い場合は受講者調整を行います。
- ・グループ形式ですから欠席すると次の学習が極めて困難になるとともに、グループメンバーに迷惑をかけることとなります。十分承知した上で受講して下さい。

【備考】

